

# [高吐] XP+トラスツズマブ療法(2回目以降)

外科: 管理番号 RSB030

処方医

適応: 胃癌

身長: cm 体重: kg 体表面積: m<sup>2</sup> 3週毎に繰り返す。CDDPは6コース

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
トラスツズマブ	●																					●
シスプラチン	●																					●
カペシタビン 朝		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							
カペシタビン 夕	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●								●

Day1夕食後( 月 日)~Day15朝食後( 月 日)

薬剤量	投与量
カペシタビン(C法) 1000mg/m <sup>2</sup>	2×朝夕食後

定期的心機能評価

通常の患者:12週

無症候性心機能障害患者:6-8週

DAY 1 ( 月 日)

本管		側管	
薬剤名	投与量	薬剤名	投与量
ラクテック 500mL [点滴静注 2時間]	1袋		
ラクテック 500mL [点滴静注 2時間]	1袋		

生食250mL 注射用水** トラスツズマブ 6mg/kg [30分~1.5時間] * [非炎症性] インフュージョンリアクション注意 特に1 ~2回目 投与後1時間まで観察	1瓶 1A
---	----------

アロキシ点滴静注用パック0.75mg デキサート注 [点滴静注 30分]	1袋 9.9mg
--	-------------

生食500mL (全満量注意) シスプラチン注 80mg/m <sup>2</sup> [点滴静注 2時間] (炎症) アレルギー-症状注意6~8回以上、ほぼ数分以内	1瓶
--	----

ラクテック 500mL [点滴静注 2時間]	1袋
マンニトール 300mL [点滴静注 1時間]	1瓶
フロセミド注20mg [静注]	1管
ラクテック 500mL [点滴静注 2時間]	1袋

シスプラチン  
[今回の投与量]  
mg/body  
[累積投与量]  
mg/body

\* 初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮可能

\*\*トラスツズマブ溶解液量

60mg:1バイアル3mLで溶解 150mg:1バイアル7.2mLで溶解

DAY 2 ( 月 日) DAY3 ( 月 日)

本管	
薬剤名	投与量
生食100mL デキサート注 [点滴静注 30分]	1袋 8.25mg
ラクテック注500mL [点滴静注 2時間]	1瓶
ラクテック注500mL [点滴静注 2時間]	1瓶

[DLF]  
シスプラチン:  
腎障害・悪心・嘔吐・骨髄抑制

トラスツズマブ: EF

カペシタビン:

手足症候群

シスプラチン: 腎障害時用量調節

カペシタビン: 腎障害時用量調節

### カペシタビンの投与量(C法) 1回用量

体表面積	初回基準量
1. 36㎡未満	1200mg
1. 36㎡以上1. 66㎡未満	1500mg
1. 66㎡以上1. 96㎡未満	1800mg
1. 96㎡以上	2100mg

### シスプラチン

Ccr (mL/min)	60 ≤	51-59	41-50	≤40
CDDP	80mg/㎡	60mg/㎡	40mg/㎡	中止

### カペシタビン: 減量(投与2回目以降)

	Grade1	Grade2			
		初回発現	2回目発現	3回目発現	4回目発現
治療期間中の処置	減量不要	Grade 0-1に軽快するまで休薬			投与中止
治療再開時の投与量	減量不要	減量不要	減量段階1	減量段階2	

	Grade3			Grade4
	初回発現	2回目発現	3回目発現	初回発現
治療期間中の処置	Grade 0-1に軽快するまで休薬		投与中止	投与中止または軽快するまで投与中断
治療再開時の投与量	減量段階1	減量段階2	再投与不可	再投与不可または減量段階2

### カペシタビンの減量時の投与量(1回1000mg/㎡で開始した場合)

体表面積	1回用量	
	減量段階1	減量段階2
1. 41㎡未満	900mg	600mg
1. 41㎡以上 1. 51㎡未満	1200mg	
1. 51㎡以上 1. 81㎡未満	1500mg	900mg
1. 81㎡以上 2. 11㎡未満		1200mg
2. 22㎡以上		1200mg

### 腎障害時の減量の目安と対処法

Ccr	51-80	30-50	30以下
	減量不要	75%減量(減量段階1)	投与中止

### [適性使用基準]

1. HER2過剰発現が確認された転移性胃癌である
2. 心駆出率(EF)が測定済みで50%以上である
3. 重篤な心障害・心不全症状がない
4. 冠動脈疾患(心筋梗塞・狭心症等)またはその既往歴がない
5. PS(Performance Status)が0~2である
6. 重篤な感染症を合併していない
7. 重篤な骨髄抑制がない
8. 重篤な腎障害がない
9. 劇症肝炎等の重症な肝障害がない
10. 5-FUを投与されていない
11. フルシトシンを投与されていない
12. TS-1が7日以上休薬期間がある
13. 生理機能が十分に保持され、下の基準を満たす。

血液一般検査	* WBC (/μL)	3500 ≤	≤12000
	* Neut (/μL)	2000 ≤	
	* PLT (/μL)	10万 ≤	
	* HGB (g/dL)	9.0 ≤	
	GOT (IU/L)	≤80	
	GPT (IU/L)	≤70	
	TBil (mg/dL)	≤1.5	
	* BUN (mg/dL)	≤25	
	* Cr (mg/dL)	≤1.1	
	* Ccr (mL/min)	80 ≤	

	Mg	1.7~2.5	
--	----	---------	--

[DLFを除く重大な副作用]

#### シスプラチン

- ・ショック、アナフィラキシー様症状【発疹・チアノーゼ・呼吸困難・血圧低下等】
- ・聴力低下・難聴・耳鳴【聴力低下・難聴・耳鳴】
- ・うっ血乳頭、球後視神経炎、皮質盲【視力低下・中心暗点・眼痛】
- ・脳梗塞【意識障害・頭痛】
- ・溶血性尿毒症症候群【紫斑・むくみ・尿量低下】
- ・心筋梗塞、狭心症、うっ血性心不全、不整脈【胸痛・息切れ・動悸・
- ・溶血性貧血【めまい・たちくらみ・倦怠感】 **心電図異常等**】
- ・間質性肺炎【咳・息切れ・呼吸困難・発熱等】
- ・抗利尿ホルモン不適合分泌症候群【むくみ・痙攣・意識障害】
- ・劇症肝炎、肝機能障害、黄疸【食欲不振・倦怠感・黄疸】
- ・消化管出血、消化性潰瘍、消化管穿孔【腹痛・嘔吐・吐血・下血】
- ・急性膵炎【腹痛・腰背痛】
- ・高血糖、糖尿病の悪化
- ・横紋筋融解症【筋肉痛・コーラ尿】

#### カペシタビン

- ・脱水症状
- ・手足症候群
- ・心障害
- ・肝障害、黄疸
- ・腎障害
- ・骨髄抑制
- ・口内炎
- ・間質性肺炎

#### トラスツズマブ

- ・Infusion reaction: アナフィラキシー様症状、肺障害【チアノーゼ・呼吸困難・血圧低下・浮腫等】
- ・間質性肺炎【咳・息切れ・呼吸困難・発熱等】
- ・白血球減少、好中球減少、血小板減少、貧血【出血(紫斑)・立ちくらみ・発熱等】
- ・肝不全、黄疸、肝炎、肝障害【食欲不振・倦怠感・黄疸・検査値異常等】
- ・腎障害【むくみ・尿量低下・検査値異常等】
- ・昏睡、脳血管障害、脳浮腫【意識障害等】
- ・敗血症【発熱・皮下出血等】